

12月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

125,262円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,740円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,950円
通信費(携帯電話代、折込代)	91,572円
支出計 10/12/1~11/1/6	125,262円
寄付	
Y,M,M,S,S,さん	28,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

11/1/6

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

第115号

16000部発行

急激に伸びる生活保護費!?

生活保護扶助費が年間40億円にも!

経済状況が如実に現れる生活保護。高齢者の就労の困難さもその増加に拍車をかけています。今回は、生活保護の傾向や規模等について説明します。

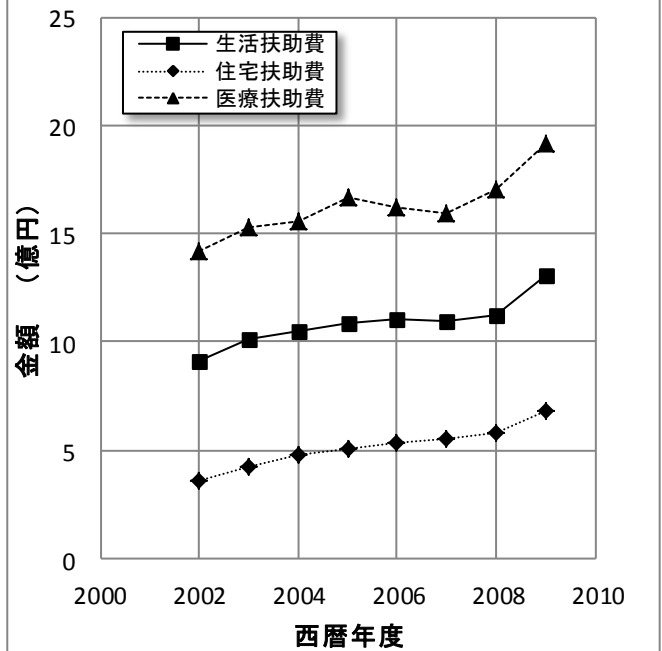
■保護率11.25%

2009年度の人口千人当たりの生活保護人員は、図1に示す通り、11.25人(保護率11.25%)になりました。2002年度は6.96%ですから7年で1.6倍になりました。同様に、月平均の保護人員は、2002年度1389人に対し、2009年度2286人と7年で1.65倍になっています。2008年度から2009年度に急増していますが、リーマンショックの影響が考えられます。

■生活保護扶助費7年で1.46倍

生活保護扶助費とは、生活保護の状態により生活費、住宅費、教育費、介護費、医療費などの支援分です。2009年度は総額で40億2300万円にもなっ

図2 主な生活保護扶助費の推移



ています。2002年度は、27億5000万円ですから、7年で1.46倍になっています。その扶助費のうち半分は医療扶助費が占めています。(図2)

■市の一般財源からの支出は7.25億円

生活保護扶助費の負担割合は、国が約76%、県が約5%で市が18%

(2009年度で7.25億円)です。市民一人当たり3660円になります。また市負担は、2002年度が5.33億円ですので、1.92億円も増えています。

その分、道路整備等は後回しです。

図3 生活保護扶助費の負担割合

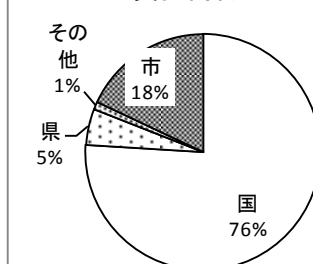
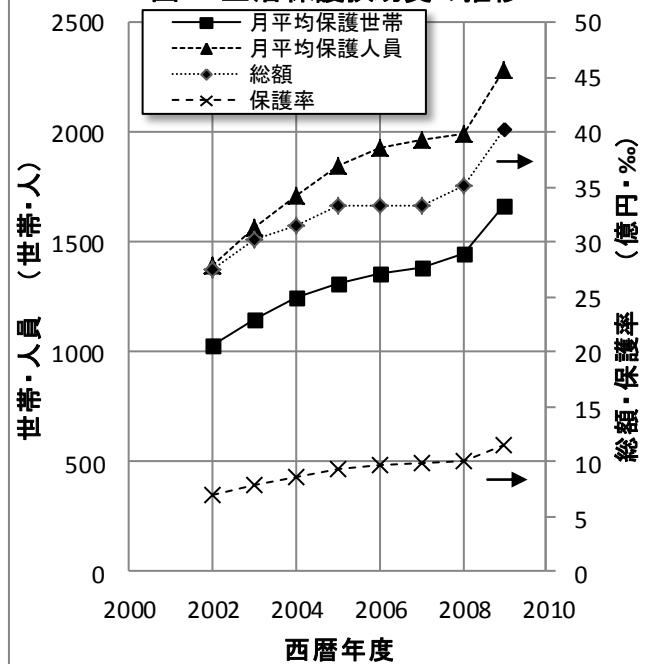


図1 生活保護扶助費の推移



排水路の状況!?

9月8日と12月3日に逸水した小八幡雨水幹線について、下水道部河川課が調査をしたので、概要をお知らせします。

■9月8日 台風9号

9月8日は、台風9号が接近し熱帯低気圧になったものの前線を刺激し続け、朝から御殿場や西丹沢が豪雨で、小田原に雨が降る前に酒匂川や小八幡川はかなり水位が上がっていました。

午後から雨が激しくなり、15時過ぎには、小八幡排水路は溢れ出し水深10cm程度に、小八幡神社南側の東電宅横の小八幡雨水幹線のグレーチングからは雨水が溢れだし、水深が20-30cmになっていました。この際周辺4件が床下浸水。

■10月30日 台風14号

台風9号で床下浸水した家庭へ前日に土嚢配布。市内各所で1500袋配布。

■12月3日 豪雨

朝の雨で国府津IC近くの6~7時の時間雨量が55mmとなりました。小八幡排水路は溢れていなかったのですが、台風9号の時溢れた小八幡神社南側が水深10cm程度になっていました。台風9号以降、逸水しやすくなったようなので、暗渠の雨水幹線に土砂がたまっている可能性もあり、調査していただくことになりました。

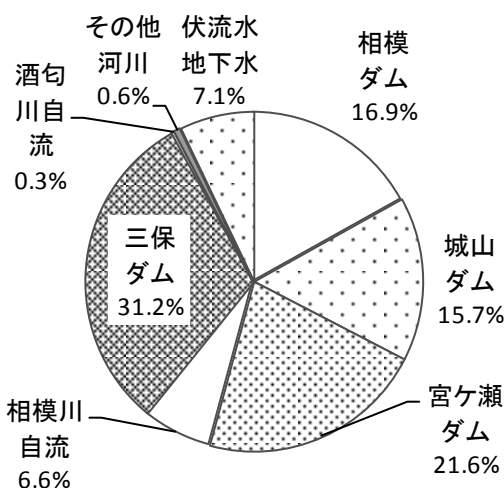
■調査結果 12月下旬に職員が雨水幹線内に入り調査しました。その結果を箇条書きで示します。

- ・雨水幹線内には、ほとんど土砂の堆積がない。
- ・雨水幹線出口が都合により約1/4の断面積の管に接続されている。
- ・宅地化が進み、雨水が直接雨水路に流れこむ。
- ・小八幡川の河床が数10cm上がっている。

今後の整備方針は決まっていますが、いくつかの手法があります。根本的には小八幡川の浚渫ですが、莫大な経費と時間がかかるため、幹線出口を直接川に流す。雨水が分散するように結節点の位置を変える。等々 所管で検討しています。

The Voice これまでに頂いたご意見から

図4 県内上水道の水源別構成比



飯泉取水堰の水は、県の水道にどのくらい利用されていますか？ 40代 男性

酒匂川の水が飯泉取水堰より県内の水道に利用されているのは、小学生の時に取水堰を見学した時から知っていたのですが、その後三保ダムができ、その重要度が低くなっていると思います。実際、県内水道にどのくらい利用されているのでしょうか？

左図の県内上水道の水源別構成比のとおり、酒匂川水系としては三保ダムと合わせ31.5%ですが酒匂川自流すなわち飯泉取水堰は0.3%しかありません。貢献度は非常に低いと言わざるを得ません。三保ダムと合わせた酒匂川水系の水は、県営水道で25.2%、川崎市水道で41.1%、横浜市水道で30.9%、横須賀市水道で5.6%利用されています。ちなみに小田原市水道は、約70%が飯泉取水堰→高田浄水場→中河原配水池からのものです。

月例勉強会のお知らせ

勉強会はどなたでも参加できます。自己紹介はしていただきますが、勧誘は一切行いません。

1月の勉強会は

日時：1/22(土)18時~20時

場所：市民学習フロア 学習室A 駅前ビル

ドラッグストア奥の1階で4階

テーマ：「扶助費について」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



武松 忠のプロフィール

- ・1965/8/9 市内国府津生まれ
- ・小田原市立国府津小学校、国府津中学校卒
- ・神奈川県立西湘高等学校卒
- ・東京職業訓練短期大学校電気科卒
(現 職業能力開発総合大学校東京校)
- ・1986/4~1999/6
日本真空技術(株)勤務 (現(株)アルバック)
ロボット・半導体製造装置等の開発に従事
- ・日本赤ちゃん学会正会員
- ・配食ボランティア虹の会事務局
- ・家族 5人(妻、1男2女)

主な役職

- ・市議会副議長(2008年度)
- ・小田原市監査委員
- ・小田原市国民健康保険運営協議会副会長
- ・小田原警察署少年補導員

HPは、**YAHOO!** で「たけまつただし」
月刊武松のバックナンバー全て掲載しています。